

## 展示室1d 加藤栄三・東一と岐阜県ゆかりの日本画家

2026年4月1日(水)から6月28日(日)

○印は5月17日まで、●印は5月19日から展示/\*印は寄託作品

2026年は加藤栄三の生誕120年、加藤東一の生誕110年にあたります。これを記念して、岐阜県美術館が所蔵する加藤栄三・東一の作品とともに、彼らにゆかりのある日本画を展示します。岐阜市出身の栄三・東一の兄弟は、同じ日本画家として日展を舞台に活躍しました。二人ともふるさとをこよなく愛し、清流・長良川の鶉飼や飛騨の高山祭など、岐阜県の風景を幾度となく取材しています。

本展では、日本芸術院賞を受賞した栄三の代表作《空》、東一の若い頃の佳作《白夜》《残照の浜》、新境地を開いた水墨画の《望郷》など、数々の作品を通じて、昭和から平成の日本画壇に忘れがたい足跡をのこした二人の画業を顕彰します。また二人が育てた後進や、日展を舞台に日本画の振興に尽くした画家の作品をあわせてご紹介します。

作家名	生年-没年		作品名	制作年	技法、素材
かわさきしょうこ 川崎 小虎	1886-1977		うらまち じてんしゃ 裏町 (自転車)	1951	紙本着色
			ぬま あそ 沼に遊ぶ	1974	紙本着色
かとう えいぞう 加藤 栄三	1906-1972		そら 空	1958	紙本着色
			かいちょう 海鳥	1959	紙本着色
			てっせんか 鉄線花	1962	紙本着色
			えんう なか 烟雨の中	1970	紙本着色
		○	かいちょうぐんぶ 海鳥群舞 その1,その2	1958	紙、鉛筆、水彩ほか
		●	かいちょうぐんぶ 海鳥群舞 その3,その4	1958	紙、鉛筆、水彩ほか
おおた いなきち 太田 稲吉	1913-1990	○	はず 蓮	1953頃	紙本着色
かとう とういち 加藤 東一	1916-1996		かく 赫	1959頃	紙本着色
			びやくや 白夜	1969	紙本着色
			ざんしょう はま 残照の浜	1970	紙本着色
			たかやままつ 高山夜祭り	1982	紙本着色
			れき 暦	1988	紙本着色
			ぼうきょう 望郷	1993	紙本墨画
		●	ざんしょう はま そびょう 残照の浜 (素描)	1970	紙本着色
		○	りょうか そびょう 燎火 (素描)	1981	紙本着色
		●	りょうか そびょう 燎火 (素描)	1981	紙本着色
		○	れき そびょう 暦 (素描)	1988	紙本着色
かさい としゆき 笠井 利之	1917-2004	○	さんがつどう 三月堂	1965	紙本着色
		●	みさき つばき 岬の椿	1968	紙本着色
ながなわしろう 長縄 士郎	1923-2021	●	や はし 八ツ橋	1981	紙本着色
つちや れいいち 土屋 禮一	1946-	○	しゅうん 岫雲	1992	紙本着色
		●*	くろ ぬま 黒い沼	2002	紙本着色